

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	あおぞらキッズ放課後等デイサービス八橋		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 29 日 ~ 令和 7 年 2 月 12 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 29 日 ~ 令和 7 年 2 月 6 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 24 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画がこども支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されている。	毎月カンファレンスでこどもの問題点や、療育の工夫や改善点を話し合っている。また、定期的に保護者面談を行い、保護者があおぞらに求めることやこどもの気持ちを確認し、共有できている。	共通のアセスメントツールを活用し、仕組化することで、どの職員でも保護者やこどもからの声を事業所へ共有することができ、保護者も職員を選ばずに話しやすい関係を築くことができるようになる。
2	生活空間が清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、こども達の活動に合わせた空間となっている。	出勤職員全員により、朝礼後の環境整備と終礼後の清掃を毎日行っている。毎月行っている改善会議で、保護者やこども達から訴えのあった事例や、職員が気付いた環境面での課題を話し合い、改善するよう努めている。	保護者やこども達から事例を改善後、フィードバックし、保護者とこども達と共有する。
3	業務全般、児童対応、設備面などに分け、PDCAを回すための取組を、会社全体で行っている。	毎月の改善会議、カンファレンス、日々の環境整備などを、半期ごとに作成する実行計画書に基づいて実行している。振り返る日を決め、定期的に振り返りを実施している。	法人内に複数の放課後等デイサービスの事業所があるため、事業所毎の課題や改善点を共有することで、自分達は未経験でもスキルアップ出来る仕組みを作る。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者の交流の機会が設けられるなど、家族への支援や、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援の機会が乏しい。	保護者から保護者間での交流の機会を希望する声が多く、保護者会等を実施していなかった。またコロナ禍をきっかけにきょうだい児へのイベント等の企画もしていなかった。	提携しているとよまき整骨院の先生より、体操教室を開催いただき、ご本人や保護者、きょうだいみんなで楽しく交流する機会を計画し、保護者へ周知する。
2	家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）や家族等も参加出来る研修会や情報提供の機会等が行われていない。	ペアレント・トレーニングの外部研修を受けた職員が複数人いるが、保護者向け研修や情報提供はしておらず、事業所内のみでの情報共有としていた。安全計画や社内研修は計画通りに実施しているが保護者には解りづらい。	希望があれば、外部講師を呼んで保護者が参加出来る研修を計画する。また、安全計画や研修の内容を保護者にわかりやすく共有することとする。
3	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解の機会が少ない	新1年生の申し込みが少なかったため、就学前の利用施設との情報共有が出来ていなかった。	新1年生の利用希望があれば情報共有の機会を持ち支援に役立てる為に相互理解に繋げていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 あおぞらキッズ放課後等デイサービス八橋

公表日 2025年 3月31日

利用児童

数 17人 2025年 2月 24日

回収数 12

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	2				
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	2				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	2				
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	7	3			
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	12					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	6	3			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	11	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	1				

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	5	6		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	4			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	3			
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。	11	1			
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	12			いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
あおぞらキッズ放課後等デイサービス八橋		2025年 3月31日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		加配加算の取得あり。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	視覚的に分かりやすいよう情報の掲示をしている。身体障害者はおらず、バリアフリー化は特にしていない。状況によりリビングや訓練室を使い分けできる。	段差が多いためバリアフリー面で改善が必要。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		半期の実行計画を作成している。会社として全体で取り組むことが出来ている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者向け評価表の他、朝礼や改善会議で日頃からお客様の声を収集し、改善している。HUG等を使い保護者の声を聞けるようになっている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎月の改善会議を行い、職員の意見を取り入れている。設備を含めた話し合いが出来ている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		年間研修計画の実施。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		毎月のカンファレンスの実施。朝礼やツールを使い、児童に関する情報を共有している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		毎月のレク会議の実施。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		評価が高かったレクを継続し、良くなかったレクは行わないようにしている。児童の日々の変化を把握して、その都度対応している。	

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われている か。	7			
	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支 援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を 行っているか。	7		朝礼にて実施。	
	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた 支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		翌朝礼時実施。	
	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改 善につなげているか。	7			
	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見 直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複 数組み合わせで支援を行っているか。	7			
	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自 己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		がんばりノートを実施し、毎日の活動を振 り返っている。	
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会 議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保 育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えている か。	6	1	医療と書面のやり取り、教育等との定期連 絡はある。	
	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っているか。	7			
	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発 達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3		
	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事 業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供す る等しているか。	6	1	今年度は該当者なし。	
	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じて スーパーバイザーや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		
	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活 動する機会があるか。	2	5		コロナを経たから交流の機会が減ってい る。
	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		
	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状 況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プ ログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる 研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1		
19	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明 を行っているか。	7			
	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者 の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえ て、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を 行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ている か。	7			
	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談 や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	6		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		消火訓練を実施したり、各対応マニュアルを事業所内に掲示している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	該当者なし。	